

さが園芸888運動 の取組状況



農林水産部園芸農産課

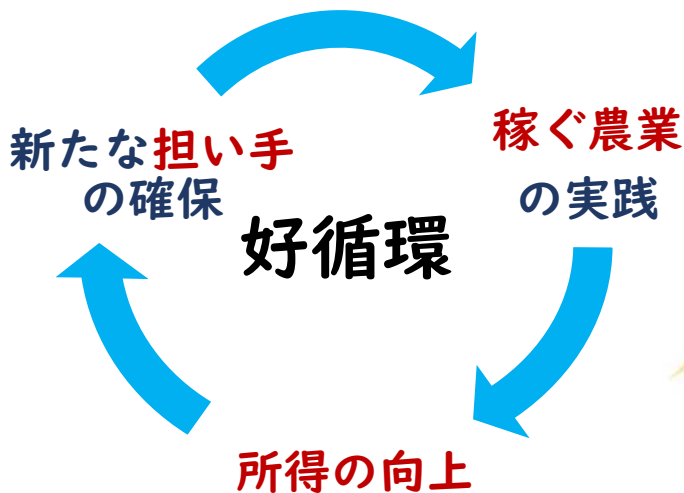
さが園芸888運動の展開



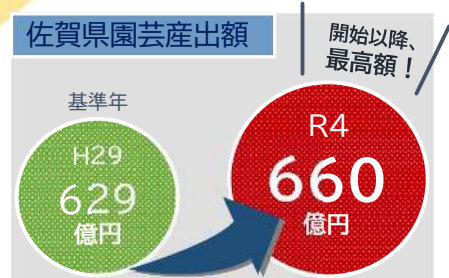
目指す姿



- 園芸作物を生産・販売し、**稼ぐ農業**を実践している農業者（経営体）が増えている。
- また、それを目指し新たな担い手が確保され、産地が拡大・創出される**好循環**が生まれている。



その延長線上に
園芸農業の産出額888億円
(H29:629億円 → R10:888億円)



運動開始以降、産出額が初めて上向きに！ 2

新規就農

生産部会等におけるトレーナー制の導入が拡大

トレーナーを位置付けている部会又は組織数

【さが園芸888運動前】

平成30年度：2組織
(全部会の1%)

【現在】令和4年度

17組織、51名
(全部会の12%)

【目標】令和8年度

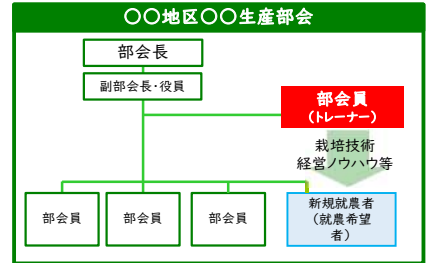
全部会等の90%以上
(TF・ミニTF含む)

■トレーナー制の取組状況(令和4年度)

地区	トレーナー制を設けている組織数			品目
	トレーナー数(人)	研修を行ったトレーナー		
佐城	3	3	0	アスパラ、いちご 施設なす
三神	2	6	6	アスパラ、いちご
東松浦	7	32	6	アスパラ、いちご きゅうり、こねぎ なす、トマト
西松浦	2	2	2	アスパラ、きゅうり
杵島	1	5	5	いちご
藤津	2	3	3	トマト
合計	17	51	22	



トレーナー(左)による栽培指導の様子



トレーナー制の仕組み

3

新規就農

トレーニングファームでの研修を修了し、 これまで、55名が県内で就農

(R6.7月末時点)

20人
就農



12人
就農



2人
就農



※ピーマンチャレンジファームは研修期間1年

8人
就農



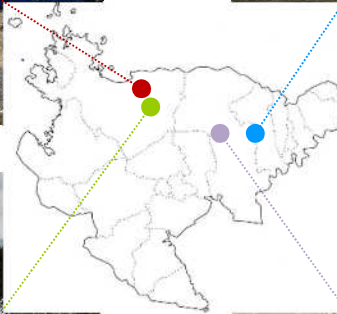
13人
就農



4

新規就農

トレーナー制とトレーニングファームを融合した ミニトレーニングファームの取組開始



園芸団地

新規就農者や規模拡大志向農家の受け皿となる 園芸団地の整備が拡大



武雄市(朝日)



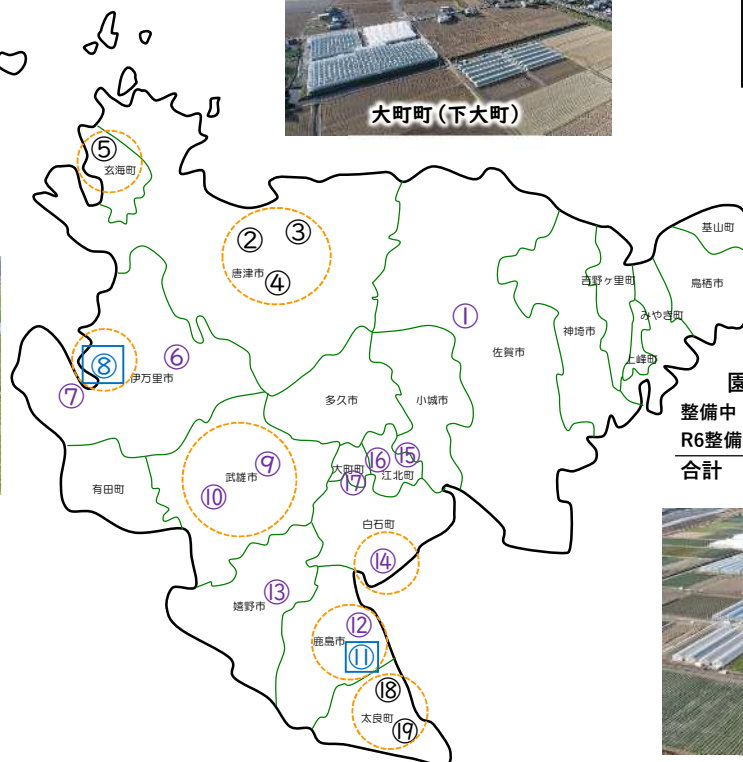
武雄市(西梅野)



嬉野市(宮ノ元)



大町町(下大町)



- 凡 例
- 園芸団地構想策定地区
 - 機構関連農地整備事業
 - 基盤整備促進事業(888推進型)

園芸団地の整備計画面積

整備中	11ヵ所	32.9ha	19名入植
R6整備予定	8ヵ所	10.8ha	
合計	19ヵ所	43.3ha	



白石町(新開)

施設野菜

施設きゅうり産地の拡大 (JAさが杵藤エリア)

トレーニングファーム修了生の就農で
栽培面積が拡大!



1~5期生(18組20名)で
5.2%の面積増加



就農まもなく県内トップクラス
の40トン(10aあたり)達成

統合環境制御技術の導入で収量アップ

ハウス内の光、水、温度などを光合成に最適な環境へ制御
県平均の約1.5~2倍の収量確保に成功



販売額 18.8%
栽培面積

7年で
1.6倍



露地野菜

高齢化の進行や収穫作業の人手不足に対応するため たまねぎの機械化一貫体系が拡大中

【機械の実演会・セミナー開催】

○実演会開催
R4年度:白石地区、上場地区
R5年度:白石地区、佐城地区

○セミナー開催
R5年度:佐城地区
参加者82名、機械展示12台



【鉄コン対応の乾燥システム導入拡大】

OR4年度実証事業による乾燥システム導入
・白石地区、佐城地区、各1ヶ所
・R5年産たまねぎから稼働

OR5年度県単事業による追加整備
・白石地区1ヶ所
・R6年産たまねぎから稼働



・収穫作業の時間短縮、軽労化となった
・人手不足の解消につながる
・鉄コンで出荷できるなら栽培面積を増やす

農家の声

機械導入実績(県単ハード事業活用分)

機械	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (要望)
収穫機(ピッカー)	8台	1台	20台	8台
運搬車	5台	5台	6台	7台
茎葉処理機	20台	7台	18台	5台
収穫機(デガー)	17台	2台	13台	7台

※R4年度は自己資金での導入が多い。R6年度要望の多くはR5年度に前倒して導入されている。



ピッカー、運搬車



茎葉処理機



デガー

JAさがでは、鉄コン対応乾燥システムを導入した
集出荷貯蔵施設を計画中

作付面積の推移(生産出荷統計)

区分	R3年	R4年	R5年	今後
作付面積(ha)	2,100	2,010	2,130	面積拡大に期待

R4年の高単価+機械導入により増加傾向

果樹

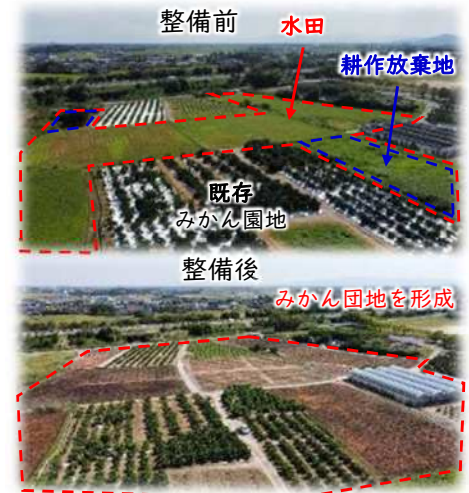
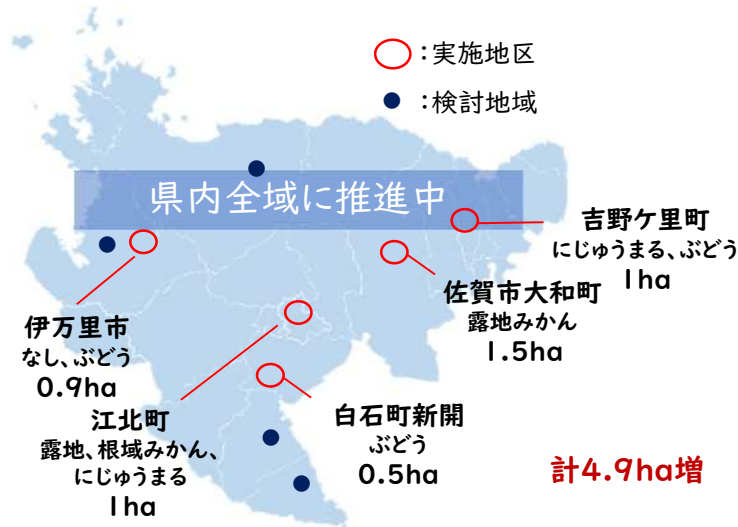
水田等平坦地で果樹園地が拡大

- ・基盤整備による作業性の高い園地の造成
- ・みかん根域制限栽培団地の整備

作業がしやすい、高品質な果実生産が可能
担い手の規模拡大や新たな担い手の確保



みかん根域制限栽培園地



水田等で整備された果樹園地

9

その他の取組



さが園芸マッチング支援事業

- ・新規企業の開拓・訪問を行い、商談を実施するだけでなく、流通業者やバイヤーとの意見交換、先進地視察を実施。

■ナレッジ共有会、視察ツアーの開催

- ・実践的なノウハウや販路開拓事例を学ぶ



実践的な販路開拓に役立つ知識や経験を共有し、農業関係者が日々の活動に落とし込めるようサポート。

中山間果樹園地における省力化

ドローン防除体系の実証とオペレーターの育成(多良岳オレンジ海道を活かす会)

■樹園地におけるドローンによる防除の省力化

- ・慣行防除の3割程度の時間で防除が完了
- ・軽トラックでの運搬も可能であり、労働負荷が軽い
- ・短時間で多くの圃場の防除を実施することができるため、特定の生産者等による受託作業も可能



露地野菜に加え、果樹でのドローン導入を支援メニューに追加(さが園芸888整備支援事業)

10

高齢化・担い手不足

- 離農による生産者数の減少
- ※農業における生産年齢人口
65歳未満の割合
(農林業センサス2020-2015)
▲5.8%

生産資材の高騰

- ハウス施設整備ハードル高
- ※農業生産資材価格指数
(R4-R元)
+17%

人手不足

- 農作業人員の確保が困難
- ※有効求人倍率(佐賀R4-R元)
+0.27ポイント
(佐賀R4平均1.37倍は過去最高)

農地の確保

- まとまった農地の確保が
困難
- ・地権者がばらばら
- ・知らない人に貸すのを嫌う
- ・推進すると地代が上がる傾向

園芸用水の確保

- 栽培に適した水量・水質
の確保が困難
- ・井戸は掘ってみるまでわからない
- ・ダム用水は水利権の調整が必要

農作業の省力化

- 収穫や集荷に多大な労力
がかかる。
- ・機械化を進めたいが、圃場や農道の
条件によって、大型機械が入らない。
- ・大規模集出荷施設には、多額の費用
が掛かる。

中山間地域農業・農村対策の 取組状況



農林水産部農山村課

未来につなぐ さが中山間プロジェクト

令和5年度～8年度

- 中山間地域の集落や産地等が主体的に行う「農業所得の向上」「農業・農地の維持」「地域の活性化」に向けた取組を支援し、未来につなぐ、農業による元気な中山間地域を目指す。
- これらの取組にチャレンジする集落・産地・地域を「チャレンジ中山間」として市町が選定。県や市町、JAなど関係機関が連携し関連事業を活用して支援。



◎みんなの中山間チャレンジ事業

- 「チャレンジ中山間」の取組を支援
 - ・市町や地域農業振興センターによる支援
 - ・地域の課題解決のためチャレンジする取組への補助 (みんなの中山間チャレンジ応援事業)

<地域の活性化に向けた取組>

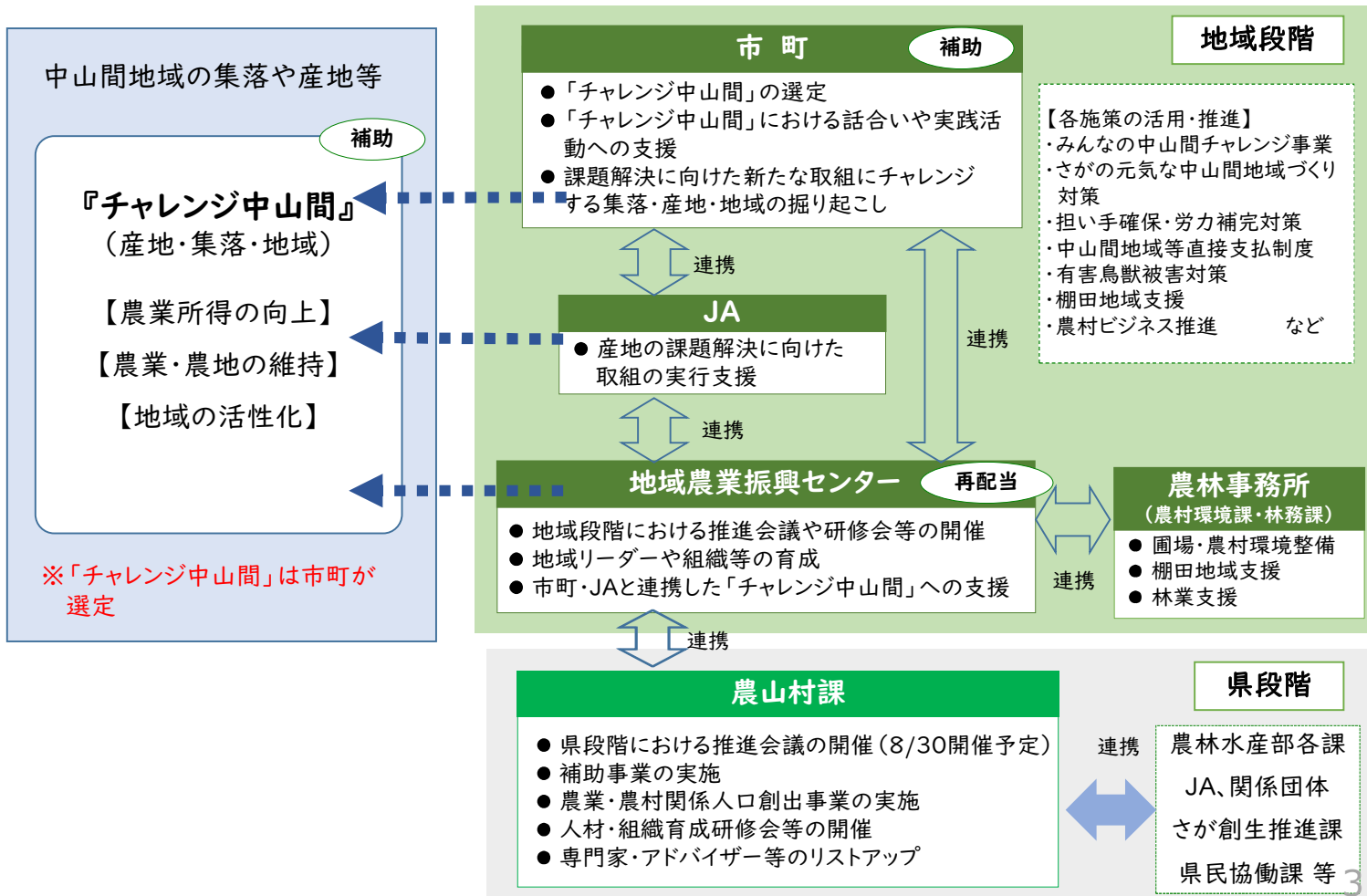
- ・農業・農村関係人口の創出に向けた取組 (企業・大学・NPO等とのマッチング、地域おこし協力隊との連携等)
- ・複合経営や小規模等の多様な農業経営スタイルの推進

◎中山間地域対策関連事業

- 中山間の特色を活かした様々な取組を各分野の事業で支援
- さがの元気な中山間地域づくり対策 (園芸用ハウスの整備や省力化・規模拡大に必要な機械の導入、基盤整備等に必要な経費の補助率嵩上げ等)
- 担い手確保・労力補充対策 (トレーニングファーム、農福連携、林業アカデミー等)
- 中山間地域等直接支払制度
- 有害鳥獣被害対策
- 棚田地域支援 (棚田ボランティア等)
- 農村ビジネス推進 (6次産業化、グリーンツーリズム、農泊等) など



「未来につなぐ さが中山間プロジェクト」推進体制



中山間地域の現状

農業従事者の減少や高齢化により、集落や地域の中だけで、農業生産活動や農村地域を維持する活動を継続することが難しくなっている。

【展開方向】

- ① 中山間地域の特色を活かした多様な農業経営の推進
- ② 農業生産を維持するための体制づくりや将来にわたって守るべき農地のゾーニングの実施と多様な農地利用の推進
- ③ 地域内外の多様な人材を確保するため、農業・農村関係人口の創出

① 中山間地域の特色を活かした多様な経営

<神崎市脊振地区>

ピーマン経営+サガンスギ苗の育苗や露地野菜など新たな取組へのチャレンジがスタート。

<事例集を作成>

中山間地域の特色を活かした、農業+林業や複数品目栽培、農村ビジネス、ハンターなどに取り組む農業者や法人を紹介する事例集「山のふところ」を作成。

中山間地域の「営み」とおした魅力を発信するとともに、新たな品目や取組等へのチャレンジを推進。



②-1 広域連携

<佐賀市三瀬村>

3集落で、イノシシ被害対策をきっかけに、広域連携の必要性を集落で共有し、令和5年8月、広域集落協定設立。(中山間地域等直接支払制度の広域化加算を活用)

これまで単独集落では困難だった有害鳥獣対策、遊休農地対策、景観事業や体験会などをスタート。

草刈りや水路清掃などの共同活動は、これまでどおり、各集落協定において実施。



②-2 省力化

<多良岳オレンジ海道を活かす会（鹿島市・太良町）>

柑橘栽培におけるドローン防除作業の実証試験やオペレーター育成等に取り組み、農作業の効率化をめざしている。



<県内各地域>

ラジコン草刈り機の導入やドローンなど省力化に向けた実証試験を実施。



②-3 多様な農地利用

<大町町不動寺集落>

農地保全のため、ヤギの放牧や鳥獣緩衝帯を整備。今後は貸農園としての活用にも取り組む。



<多様な農地利用を推進>

今後、景観作物の作付や鳥獣緩衝帯、放牧、計画的な植林など、地域の実情に即した多様な取組を推進。



③-1 棚田ボランティア

<県内19の棚田地域>

25の企業・団体等で「棚田ボランティアに関する協定書」を締結。



<佐賀市大和町楢原集落>

令和6年4月に、ホテル千代田館と協定を新たに締結。

(田植えの準備作業や、干し柿づくりなど)



③-2 地域おこし協力隊制度の活用

<伊万里市川内野集落>

地域おこし協力隊が高齢者の共同出荷支援や、集落のイベント運営、集落の魅力発信などを行い、地域を活性化。

<県・12市町で36名が活動>

このような取組を広げるため、制度内容や県外の活用事例について、県・市町の担当者を対象とした研修会を開催。中山間地域の活性化につなげるため活用を推進。





農福連携の取組状況

農林水産部農業経営課

令和5年度 農福連携の主な取組

マッチング 支援体制の 強化

- 農業分野・福祉分野のコーディネーターの設置による濃密なマッチング、中間支援の実施
→ R5年度マッチング契約件数67件
- 唐津市で新たに「唐津市農福連携推進会議」が発足

中間支援者の スキルアップ

- 農業版ジョブコーチ（農福連携技術支援者）資格取得
資格取得者 2名（R4）→ 3名（R5）
- 地域単位での農業関係中間支援者向け研修会の実施

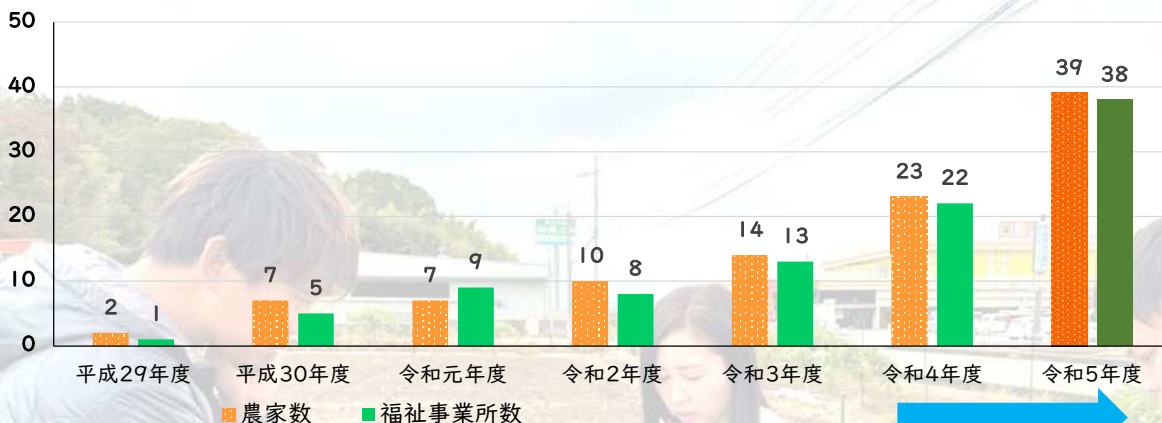
啓発活動 の強化

- 農福連携セミナー（1/29）、マルシェ（3/10）等の各種イベントの開催による啓発
- 福祉事業所を集めた農福連携説明会等の開催

「農福連携」に対する理解の浸透と取組が着実に広がりつつある

令和5年度活動の成果：園芸品目を中心に農福連携の取組が拡大

農福連携に取組む農家数と福祉事業所の推移



農福連携コーディネーターによる県域でのマッチング支援

農福連携マッチング実績の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
契約数	25件	41件	67件
うち新規契約	13件	24件	43件
主な取組品目	ほうれんそう、アスパラガス、みかん、ピーマン、たまねぎ等	ほうれんそう、アスパラガス、みかん、ピーマン、たまねぎ、きゅうり、小ねぎ等	ほうれんそう、アスパラガス、みかん、ピーマン、たまねぎ、冬どりたまねぎ、きゅうり、小ねぎ、いちご、不知火、葉ニンニク、スイートコーン等

3

令和5年度 農福連携マッチング事例

事例（1） 佐城北部地区 JAさが神埼営農センター北部事業所（神崎市脊振町）

作業内容：ピーマン共選によるヘタ切り作業
 福祉事業所：（佐賀市）SAKURA、ボルガ、CoCoテラス（三神地区）めぶき、はたらく家族、地上のほし
 利用者：延べ374人、1日当たり3.06人

【マッチングの特徴】

・令和元年より農家の作業場で福祉事業所にピーマンのヘタ切り作業をしてもらうマッチングを始めたが、令和5年度脊振里芋選果場を利用し共選にすることで、「量の安定」「複数事業所の受け入れ」「ヘタ切りに依頼する農家の増加による農家の作業負担軽減」「規模拡大」「農家と福祉事業所でも問題の解決」につながった。

【感想】

（福祉）農作業を得意とする利用者が「自分の得意なことを活かせるから楽しくてたまらない」「工賃アップと外に出ることで気分転換になります」と皆さんが精神的な安定を見せています。（JA）農家の作業負担軽減により収穫作業等に専念できることから、新規就農者の増加や規模拡大への見込みにつながった。



里芋選果場で3事業所がヘタ切り作業をしている様子

事例（2） 神埼地区 スイートコーン O夫妻（神崎市）

作業内容：スイートコーンのセルトレイ播種作業
 福祉事業所：めぶき
 利用者：延べ7.5人、1日当たり3.75人

【マッチングの特徴】

・小ねぎの調整を令和3年度からご依頼いただいていたが、利用者の方にスポットの当たることをしたいとスイートコーン観光農園を構想されていた。今回実現に向け、播種から観光栽培の収穫時のお客様との関わりまでお願いしたいと、まずは播種作業をご依頼いただいた。
 ・令和6年度4月には播種してもらった苗を圃場への定植作業もご依頼いただき作業された。

【感想】

（福祉）皆さんワイワイと楽しく作業に参加させていただきました。作業自体はとても上手に滞りなくできたと思います。また土に触れることでより農業の楽しさを教えていただきました。（農家）完璧でした。掃除までしてもらい感謝しています。定植が楽しみです。



スイートコーン播種作業の様子

4

令和5年度 農福連携マッチング事例

事例（3） 東松浦地区 ハーリック・アスパラガス K夫妻（唐津市鎮西町） (葉ニンニク)

作業内容:ハーリックの苗ばらし作業、定植作業、収穫・出荷調整作業、アスパラの片づけ作業
福祉事業所:ビーハウス
利用者:延べ32人、1日当たり10.7人

【マッチングの特徴】

- ・唐津創生会議でK夫妻が農福連携にご興味を持たれておりビーハウスさんとも会われている中、唐津市と共に訪問しマッチングに繋がった。
- ・利用者が楽しめるようにと、植えるところから収穫・出荷調整までをご依頼。
- ・複合経営農家の作業が重なる時期の負担軽減につながった。

【感想】

(福祉)最初は不安も多く考えながらの作業だったが、回数を重ねるごとに早くなり楽しく作業をすることができた。大変よくしていただき、毎回行くのが楽しみだった。出来高制だったので達成感があった。

(農家)非常に楽しかった。楽しくやっていたことが伝わり嬉しかったし、もちろん労力的にも非常に助かった。アスパラの片づけ作業時期とハーリックの収穫・出荷調整時期が重なり昨年は出荷できず破棄したものもあったが、今年はビーハウスさんに作業してもらい出荷できた。



ハーリック定植作業の様子

事例（4） 藤津地区 きゅうり（嬉野市塩田町）

作業内容:きゅうり片づけ作業、葉かき作業、マルチ張り・留め作業、定植作業等
福祉事業所:愛まんてん、いぶき村、希望、Wa・To・Wa、les billes (レビュー)
利用者:延べ487人、1日当たり5.68人

【マッチングの特徴】

- ・令和4年度N氏より拡がり、塩田町で5名のきゅうり農家の方が福祉事業所へ依頼された。
- ・基本的にはスポット作業で早く終わると助かる片づけ作業や定植作業の依頼が主だが、つる下ろし栽培の農家は定期的な葉かき作業を依頼により規模拡大に繋がった。

【感想】

(福祉)単純作業であったため、多少迷われることはあったが直ぐに慣れ、集中して取り組むことができた。

いろいろな作業ができて良かった。時給換算したところ1000円以上になり良かった。

(農家)片づけ作業や定植作業をしてもらっている間、別のハウスでパートの方には引き続き収穫をしてもらえるので、スポットで来てもらえると非常に助かる。



定植作業の様子